



みらいこども園

8月号

2026年8月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 長勝 芳子

☆夏の行事に参加して☆

うだるような暑さが続いています。今年も暑い夏が私たちの体力を消耗してしまうようで心配ですが、十分ご自愛ください。さて、子ども達の様子を見てみますと、口では「暑い！暑い！」と言いながらも園庭に出て、好きな遊びを友達と思いっきり遊んでいます。どろんこ遊びや水遊びは、特に大人気で楽しそうです。これからは、気温が高くなると熱中症のリスクが高くなるので、配慮しながら遊びの環境を整えていきたいと思えます。

7月は、大きな行事が2つありました。1つ目は、7月7日の「七夕コンサート」です。今年も「ウッドwind・クインテット」という5人の方々に来ていただき、金管楽器のトランペット、トロンボーン、ホルン、チューバによる金管五重奏の演奏を聞きました。ミッキーマウスマーチで演奏者が入場してくると、「わー！」と声が上がリ、一瞬にして会場は別世界に移行したようになり、子ども達の心も弾んでいて、楽器の音に酔いしれていました。「となりのトトロ」「リトルマーメイド」「きらきらぼし」「たなばたさま」「みらいこども園の園歌」など、知っている曲が流れると自然に歌声もとびだし、生の演奏になると子ども達も気持ちが良いのか、普段よりもいい声で歌っていて、音楽の力はすごいなと感じました。また、乳児さんの中には、演奏中、子守唄のように聞こえたのか『こくん、こくん』と寝てしまった子もいて、思わず抱きしめたくなくなってしまったほど可愛い姿でした（笑）。にじ組さんとそら組さんの回では、チューブ型マウスピースの体験コーナーもあり、今回は、にじ組さんの代表のお友達が挑戦しました。一生懸命唇に力を入れて、頬を膨らます感じで吹くと音が出るよと教えてもらい、音の大きさは、それぞれでしたが皆音が出ていました。見ているお友達は、「僕もやってみたい、私も」と、皆興味津々で帰りには、どこでそのマウスピースは売っているのかということを探る子もいました。もしかしたら、園児の中に将来音楽の道に進む子も現れるかもしれませんね。アンコール曲は、なんと「マツケンサンバ」が演奏され、子ども達の気持ちもさらにヒートアップして「オレー！」と掛け声まで飛び出していました。最後に、にじ組さんから園代表で演奏者にお礼のペンダントをプレゼントして、楽しい時間は幕を閉じました。2つ目は、毎年好例の「なつまつり」です。今年も、3月にこども園を修了した小学1年生を招待しました。久しぶりの登園ということもあって、少し緊張していましたが、見慣れた職員に会うと緊張がほぐれたのか、一気に変わらない表情になり楽しそうにコーナー遊びや盆踊りを参加していました。在園児は、親子で参加でしたので、時間が足りないほど、さまざまなコーナーを回って楽しんでいました。今年は、箱積み、フリスビー、シアター、玉運び、虫探し、太鼓、風鈴作り&フोटスポット（保護者会）と盛沢山でした。一番人気はやはり虫探しで、各自で用意した虫かごにたくさんの虫を探して入れていました。最後に1つだけ好きなものを選んでお土産として持ち帰りました。どの子も、まるで生きているものを扱うように、丁寧に虫かごに入れていた様子を見て、日ごろから生き物に触れている経験がきちんと学びとして生かされているなと感じました。おまつりの最後は、盆踊りです。素敵な浴衣や甚平、法被などを着た子ども達が、太鼓に合わせて元気に踊る姿や表情は、どの学年のお子さんも素敵で、見ていて嬉しくなりました。この笑顔が、これからもずっと続くことを心から願います。

明日から、スマイルさんは、夏休みに入ります。健康に気を付けて有意義に過ごしてください。この時期に、1つお子さんに責任ある役割を作っておけると、目標ができて生活にもお子さんの成長にも良い影響を与えると思います。ぜひ試みてください。ドリームさんは、今後も園生活が続きますが、お休みの時は、親子の絆をより一層深めていただく時間にしてください。



100周年
お祝いの提灯
(にじ組による製作)



ほし組の盆踊り



ダンゴ虫
いるかな～



にじ組さんより演奏者の方
へお礼のプレゼント